

てまどりケーブルからローカルな話題や
エリア情報などをお届けします



吉野貯木場（製材所群）

「貯木(ちよぼく)」という言葉をご存じでしょうか。山で伐採された原木や木材を一時的に集めて保管・管理することを指し、その場所を「貯木場(ちよぼくじょう)」と呼びます。古くから吉野川上流から切り出される吉野材は筏を組んで川の流れて下流へ運ばれていました。昭和14年、吉野町上市に「吉野貯木場」が造成されたことで、3つの水中貯木場と原木場、多くの製材所が集積し、東西約2kmにわたる製材工業団地が形成されました。約80年の年月を経た今でも吉野貯木場には原木市場や多くの製材所が立ち並び、多くの良質な吉野材が行き交っています。



吉野杉の家

吉野町飯貝624



吉野杉の家 外観



吉野杉の家 内観

吉野川沿いに建つ吉野杉の家は、1階が吉野杉、2階が吉野桧で作られた吉野材を五感で体感できる施設です。建築家の長谷川豪氏とAirbnb、吉野町が協力し2016年に完成しました。木の仕事に携わるメンバーがホストとして出迎えてくれるため、ゲストとホストが交流できるのも魅力です。



木のまち吉野を体感しよう!!

日本における造林発祥の地とされる、奈良県吉野地域。その始まりはおおよそ500年前の室町時代に遡ると言われ、現在に至るまで脈々とその技術が受け継がれています。その中で吉野町は地理的条件から吉野材の集積地となり「製材のまち」として発展してきました。近年では吉野材の良さを様々な形で体感できるように、吉野材をふんだんに使った宿泊施設「吉野杉の家」や、吉野材を取り扱う工房も増え、建築材料としてだけでなく家具や小物としても吉野材の魅力を感じる事ができるように変化しています。



2023年に完成した看板



製材所群遠景



原木市場での競りの様子

ものづくりの里・国栖の製箸所



現在、日本国内で使われる割り箸の97%は輸入で賄われ、残り3%の国産割り箸のうち約半数以上は奈良県で生産されています。その多くは吉野が担い、特に吉野町国栖(くず)地区には割り箸の生産者が集まっています。吉野の割り箸は、明治のはじめに吉野杉で作る酒樽の材料の端材が捨てられるのを惜しんで考案されたのが始まりです。歴史の中で、吉野桧材や杉材を使用した「元禄箸」「天削げ箸」「らんちゅう箸」といった、様々な形の割り箸が生まれました。現在では柱やフローリングといった建築部材を製材した後に残る、外側の利用頻度の少ない部分を活用して一本一本丁寧に作られています。

吉野オンラインSHOPで吉野のお箸を購入できます!



国栖地域遠景



製箸の様子

お箸の購入はこちら↓



余すことなく

使われる

吉野の木



木のまち吉野はSDGsに貢献!!



吉野林業や吉野材を使った箸づくりはSDGsに貢献しています。適切に間伐や植樹を管理しながら木材を伐採して利用しているので、優良な木材と健全な山林環境を次の世代に残すことができます。また、割り箸は一部では森林破壊につながると考えられることもありますが、吉野では端材だけを利用して作られるため実は国内資源を有効に活用しているのです。

よしのウッドフェス!!

吉野町で開催される“木のまち”を体感する体験型フェスティバル。木材産業の歴史を持つ吉野町に、かつての賑わいを取り戻したいという思いから始まりました。2019年に第1回目開催後、コロナ禍の休止期間を経て2023・2024年と開催し、今年で4回目。吉野杉や吉野桧の産地として歴史を誇るこの地で、「木をもっと自由に・もっと楽しむイベント」をコンセプトに、多彩なプログラムを通じて木の魅力を伝えています。

よしのウッドフェス

(YOSHINO WOOD FESTIVAL 2025) 開催予定!

10月11日(土)・12日(日)

【場所: 吉野貯木場(受付)】

貯木まちあるきや競り体験、木工ワークショップなど多数!



↑ 昨年開催時の様子

吉野と暮らす会HP
詳細はこちら↓



くにすの杜マルシェ開催!

10月26日(日) 場所: くにすの杜(吉野町窪垣内49番地)

地元の食や手作り品、ワークショップ、音楽などを一日楽しめます!

詳しくはこちら→



吉野の産業は小さな循環の輪が重なり、大きな循環の輪となって地域の環境と経済を支えています。

皆さまもぜひ「木のまち吉野」で木の魅力に触れ、木を身近に感じてみてください。

《お問い合わせ先》

一般社団法人
吉野ビジターズビューロー
住所: 吉野郡吉野町上市77-1
TEL: 0746-34-2522
<https://yoshino-kankou.jp/>

◇◆◇編集後記◇◆◇

今月のコマド里は吉野町をご紹介します。吉野神宮では9月27日に【秋の大祭】が行われます。祭典では浦安の舞の奉納や民謡踊り、奉納詩吟などが催されます。その他、吉野山では【MUJlroomSA KAMOTOYA】が今春リノベーションオープンしました♪「自然と文化の循環」をテーマに無印良品が旅館「坂本屋」の3室をリノベーション。吉野杉をはじめ循環型の地域資源を取り入れた内装や自然の恵みで作ったアメニティが魅力的です。皆さんもぜひ自然に触れることのできる吉野町を訪れてみてはいかがでしょうか♪

ガイド誌担当: Y